

記 事

◎第2回理事会（昭.27.7.28）出席者：稻浦会長、立花、福田副会長、富樫、坂本、中島、本間、佐島、岡本、榎、樺島の各理事、協議事項：1)支部交附金の決定、2)福田副会長国際会議に代表として出席する際の会長メッセージ（案）訂正の上可決、3)基金運用について協議、4)9月講演会について、5)毎日新聞社の毎日学術奨励金候補者推薦についての照会に対しても適當なものがない、6)会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 編集委員会（昭.27.7.21）出席者：本間、佐島正副委員長、森、矢野、川口、菊池、及川、神谷、安部、細井(代)、岩塚、村山(関西)、三宅の各委員、丸安、田原両氏

協議事項：1)会誌及び論文集の進捗状況報告、2)原稿審査報告及び新原稿審査委員の決定、3)第37巻第9号登載論文を次の通り決定。

大野 謙：鋼構造におけるラーメン隅角部の設計公式について、赤井浩一：地盤の応力集中に関する一考察、佐藤 奉：尼崎港の防潮堤について、畠中元弘：土堰堤の振動に関する3次元的考察、石原安雄：道路側溝に関する水理学的研究、洞庭 謙：プレストレスドコンクリート逆T桁を用いた合成床版橋の設計について、寄書：本間 仁：新制大学の教科課程について、資料：白石俊多：米国の土木施工の示方及びプラクティス、

4)討議依頼先の決定、5)次回講座として“推計学の応用”を探り上げ丸安、田原両氏が斡旋して各専門家に依頼すること。

2. 第8回製図規格委員会（昭.27.7.8）出席者：福田委員長、水越、高畑、丸安、樺島、柏谷(代)、深谷、宮崎、佐島の各委員、榎本、田村両幹事、協議事項：1)地図と木構造の原案審議、2)河川と発電水力とは密接な関係があるから別個に両者を委員で協議すること。

3. 第4回ハンドブック編集委員会（昭.27.7.8）

出席者：福田委員長、岡本、最上、丸安、本間、国分、富樫(代村上)、榎、佐藤(代大串)、松井(代広瀬)、黒田(代坂本)、市浦、加納(代高坂)、藤井、松村各委員、嶋幹事、協議事項：1)各委員から担当部門の進捗状況の報告があり、大体予定通り進捗の模様、2)福田委員長外地出張中本間委員に代理を委嘱する、3)見本刷によつて各委員の意見を求め、なお編集上挿入図はできるだけ横最大18cmに収めること、このことの詳細説明を各執筆委員に見本と共に送付すること、4)定価その他協議したがなお委員長において研究。

4. 第7回法面崩壊防止委員会（昭.27.7.22）出席者：

最上委員長代理、星埜、多田、福岡、宮崎各委員、八十島、三木、門田、岩塚、山口、市鷲、白石、大場、伊崎各幹事、高橋、斎藤両氏、協議事項：1)門田幹事近く名大に転勤のため連絡上東大農学部山口氏を幹事に委嘱すること、2)幹事補佐として当分の間国鉄土木課高橋浩二、斎藤徹両氏を委員会に出席せしむること、3)仁杉委員歐洲出張について外国事情調査方依頼すること、4)示方書原案の審議、5)法面崩壊事例の研究。

5. コンクリート常置委員会（昭.27.7.30）出席者：

国分、仁杉、谷藤、山田、丸安、後藤、岡部、猪股、田村、藤田、川口の各委員及び深谷氏、協議事項：1)委員に国鉄特殊設計課深谷俊明君を追加委嘱すること、2)示方書238ページ砂の有機不純物試験に関する研討、3)セメント技術協会照会のコンクリート収縮研究委員会委員推薦方申入に対して打合せ、4)P.S.コンクリートの記号統一について猪股委員から提案あり、次回までに同委員原案提出のこと、この審議に当つては委員を追加する要あり、5)委員の変更は委員長と協議の上次回に決定、6)今後研究課題によつて毎月1回位開催すること。

6. 第3回水理委員会（昭.27.7.31）出席者：安芸

委員長、本間幹事長、井島、岩塚、市浦、坂本、左合、高畠、中安、林、水越(代)、横田、吉川、米元の各委員、岩崎(東北)、石原(代矢野)、岩垣(関西)、小川(中・四)の各地方委員、三浦幹事、協議事項: 1)委員に京大矢野勝正氏を追加すること、2)研究項目を研討し、各委員からの追加項目を照会、3)国際水理研究学会と連絡するため国内水理研究会を学会内に設けて、

一般会員に入会を勧誘し、会費を年額200円とし、研究抄録費、連絡費等にあてる。

◎そ の 他

1. 夏季講習会講師打合会(昭. 27. 7. 10)出席者: 岡本理事外各講師、協議事項: 講習原稿の内容、映画及び見学先について協議した。

第37卷第6号所載学会備付雑誌(国内)一覧追加 (昭. 27. 7. 31. 調)

1. 官公序関係の分

安全資料(労働省産業安全研究所)、建設省部局別分類刊行物目録(建設省図書館)、国立国会図書館年報、北海道地下資源調査報告(北海道地下資源調査所)

2. 学校関係の分

Reports of Research Institute for Applied Mechanics(九州大学応用力学研究所)、京都大学工学

研究所彙報、同所研究報告、同大学工学研究一抄録一(同所)、Disaster Prevention Research Institute Bulletin(京都大学防災研究所)、岐阜県立大学工学部研究報告、Scientific Papers of the College of General Education University of Tokyo(東京大学教養学部)

3. 官公序、学校関係以外の分

東北研究(岩手大学本部内東北開発研究会)、土木建設(土木工業協会)、日本及び隣接地域大地震年表(震災予防協会)

昭和27年7月分入退会報告(7. 1~7. 31現在)

1. 入会 63名(特4、正19、准25、学15)

2. 退会 11名(正6、准5)

3. 転格 4名(特1より特2 1、准より正1、学より准2)

会員現在数(27. 7. 31現在)

名譽員	賛助員	特別員	正員	准員	学生員	合計	増加数
18	16	246	4646	5269	1139	11334	52

昭和27年8月10日印刷	土木学会誌	定価 100円
昭和27年8月15日発行	第37卷第8号	

編集兼発行者	東京都千代田区大手町2丁目4番地	中川一美
印刷者	東京都港区赤坂溜池5番地	大沼正吉
印刷所	東京都港区赤坂溜池5番地	株式会社技報堂

東京中央局区内千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20)3945番

発行所 法人土木学会 振替東京16828番